

ふらほろ

2019
10
No.636



子ども農業体験学習 (浦幌小学校)



収穫作業の様子（愛牛）

デントコーン収穫作業終了

9月2日より始まった、コントラによるデントコーン収穫作業が終了しました。町内では3台のハーベスターと運搬車がセットを組み、稲穂地区から作業を開始し、申込みのあった489畝の刈り取りを進めました。

今年は、毎年心配される台風による倒伏も無く、作業は順調に進みました。収穫されたデントコーンについて畜産課では、「一部圃場で「すす紋病」が見受けられるが、総じて実入りも良い状況といえる。昨年と比較して、天候に恵まれたこともあり収穫量も満足がいく状況ではないか。」と話していました。

営農サポート課によるコントラ収穫作業は、デントコーン収穫を終え、いよいよ終盤となる豆類収穫に移ります。



は種作業の様子（美園）

秋播き小麦は種作業スタート

9月17日頃より、町内では秋播き小麦のは種作業が始まりました。前作物となる馬鈴しょ、コーンの収穫後圃場では、昼夜を問わず整地作業が行われており、適期は種に向け準備が進められました。

農産課では、「平成23年産より本格的に作付を開始してきた「きたほなみ」は、気象により波があるものの収量は安定してきている。多収に向けた第一歩が、適期のは種作業にあることに間違いはない。今年のは種時期もおおむね天候に恵まれ作業が順調に進んでいることから、令和二年産にも期待が持てるスタートが切れた。」と話していました。なお、北海道では「コムギ縮萎縮病」の発生が拡大する傾向にあり、その対策として適期は種と適正輪作が有効とされており、小麦生産者の皆様の取り組みを、お願い致します。



豆の収穫作業（合流）

今年、雑豆類は作付面積が減少傾向にあることから、品種により和菓子メーカー等も国産原料の確保が難しくなってきました。そのため、各産地との契約栽培や産地訪問、生産者との情報交換等による作付け推進など積極的な取り組みがなされております。

豆類収穫最盛期を迎える

9月4日、上浦幌支所農産施設では令和元年産「大正金時」の受入れが始まりました。町内の豆類収穫・受入作業は、金時類から始

まり、手亡、小豆、大豆、白花生と11月中旬まで続く予定です。今年の豆類は、6月中旬からの曇天、高温の影響を大きく受け、

全体的に小粒傾向で収穫量は平年より減収となる見込みです。また、雑豆全体の市場在庫量は乏しく、変わらず実需者からの引き合いが強いことが予想されております。

9月25日には、東京から株式会社星野資材部長が当JAに来所されました。令和元年産小豆の品位や収量についての情報交換の後、農産担当者と共に収穫作業が行われてい

情報交換の様子



株式会社 星野資材部長



る圃場の視察を行いました。株式会社には、当JAで取り扱っているエリモシヨウズの半分以上が出荷され、羊羹に代表される製品に加工されております。また、福白金時は全量が取引されていることから、令和二年産の原料確保に向けた作付のお願いがありました。

今年度は、株式会社（絹手亡）、菊池食品工業株式会社（水上食品（白花生）と、出荷先メーカーからの表敬訪問を頂き、浦幌町産豆類の情報交換を行っております。

メーカーも心待ちにする令和元年産の豆類収穫が最盛期を迎えております。

第17回 北海道総合畜産共進会

肉牛・馬の部

9月7日、肉用牛の部が十勝農協連家畜共進会場（音更町）で開催されました。

公益社団法人全国和牛登録協会中央審査委員の岸大輔氏が審査を務め、各地より153頭の自慢の肉牛が出品され、10部門に分かれ

1等1席に入賞した「ことは」号



肉用牛の部

て競いました。

当JAからは2戸2頭を出品し、第4部に出品した高田哲雄さん（宝生）所有の「ことは」号が1等1席に入賞しました。

また、9月8日、馬の部が十勝農協連家畜共進会場（音更町）で開催されました。



馬の部

独立行政法人家畜改良センター十勝牧場業務第二課長の廣岡俊行氏が審査を務める中、各地より出品された馬41頭が、4部門に分かれて競い合いました。

当JAからは2戸2頭を出品し、廣川健二さん（富川）出品の「レディアイドル」号が2等に入賞しました。

乳牛の部

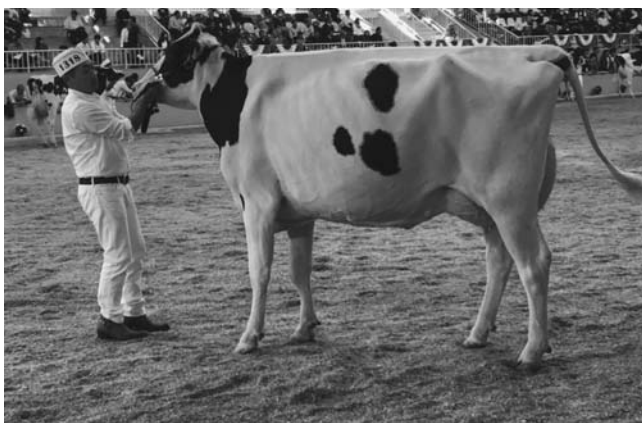
9月28日、乳用牛の部が北海道

ホルスタイン共進会場（安平町）で開催されました。

北海道各地より430頭の出品があり、北海道ホルスタイン農業協同組合審査部次長の田中道広氏が審査を務める中20部門に分かれ競い合いました。

当JAからは第13部に1戸1頭を出品し、朝日昇司さん（活平）所有の「サニーライズ ビーマー ス ファースト レベツカ ET」が1等1席に入賞しました。

乳用牛の部



浦幌町酪農振興協議会

酪農女性研修視察

9月5日、浦幌町酪農振興協議会（山下茂樹会長）は女性研修会を開催し、町内の酪農家・酪農法人より15名が参加しました。今回は、昨年胆振東部地震により視察中止となった(有)大木牧場（河東郡土幌町字中音更西3線148番地）を視察しました。

この法人は昭和50年に脱サラをして新規就農し、現在は従業員13名、飼養頭数約1500頭の大規模経営に成長した牧場で、代表の大木悦子さんは地域の牧場の主婦たちで情報や交流を持つ会を結

パーラー舎内見学の様子



参加者と大木さん（中段左から4人目）

成して様々な活動を行っているリーダー的な存在です。

視察はJA土幌町畜産課の佐藤課長補佐の案内で、パーラー舎（24頭Wパラレル方式）・フリーストール牛舎・哺乳牛舎を回り、「バルク乳体細胞数・繁殖成績が町内平均を上回っており、とても優秀な牧場」と説明を受けました。参加者は施設を見学した後、大木代表に新規就農時の苦労話や牛飼いと共通の話題などで盛り上がり、記念写真を撮影して視察を終了しました。

青年部活動（砂原互部長）

子ども農業体験学習

9月17日、浦幌小学校（横山利幸校長）で「子ども農業体験」を実施し、参加した盟友9名が3年生、6年生と育てた作物の収穫作業を行いました。

6月中旬に植えたイモや枝豆などは天候に恵まれ順調に生育しており、児童たちは育てた作物に「立派に育って嬉しい」と喜んでいたほか、大きいイモを見つけ歓声を上げる姿も見られました。



3年生（写真左上）と6年生による収穫作業

その後、6年生は浦幌PR活動の一環として、9月末に行われた修学旅行先の札幌駅で、農業体験で学んだことなどを説明しながら収穫した後にラッピングしたイモを配りました。

今後は、3年生が調理実習で収穫したイモなどを使い、カレーを作る予定です。

第44回ふるさとのみりの祭り

9月22日、うらほろ森林公園（町内東山）で第44回ふるさとのみのり祭り（主催・浦幌町観光協会）が開催されました。

浦幌町開町120年を記念し開催された今回のみのり祭りは、天候にも恵まれ過去最高の3万6千人（主催者発表）が来場しました。農協ブースではレッドムーンやインカのめざめなどの馬鈴しょ、



農協ブースにも大勢の方が足を運んで下さいました



毎年恒例のみりのまき

チンゲンサイや玉ネギなどの野菜、令和元年産の金時豆などの升量り売りや農産加工品を販売したほか、浦幌町和牛改良組合（田野敏規組合長）では、うらほろ和牛肉やハンバーグを販売しました。

また、地場産品の当たり券が入った餅まき「みのりまき」には、櫓を囲んで大勢の人だかりができていました。



第7回 理事会



9月26日、役員室において理事会を開催し、令和元年産小麦品位格付と製品配分などについて審議し、全議案が承認されました。

○報告事項

- 1 情勢報告
- 2 組合員の異動（加入・脱退・資格変更）について
- 3 人事の発令について
- 4 要領の一部改正について
- 5 贈与税納税猶予にかかる債務保証解除について
- 6 「令和元年JAうらほろ感謝祭」の開催について
- 7 令和元年度浦幌町小規模暗渠排水事業見積り合せ結果について
- 8 事務管理態勢充実に向けた事務指導計画の策定について
- 9 令和元年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- 10 8月末生乳生産動向

○議案

- 第1号 固定資産の取得について
- 第2号 令和元年産小麦品位格付と製品配分について
- 第3号 平成30年産食用加工用馬鈴薯の精算について
- 第4号 令和元年8月農事組合懇談会の意見・要望に対する回答について

○協議案

- 1 農事組合長研修視察について
- 2 農業団地センター・内部改修工事について

人事異動

採用【業務職】（令和元年9月1日付）

村井 智則（営農販売部営農サポート課）

退職

松田拓人（上浦幌支所農産課）（令和元年9月30日付）

新採用職員紹介

新たに採用された2名の職員を紹介します。



おおさわとしなお
大澤敏直

部 署：購買部燃料車両課
年 齢：43歳
出身地：幕別町
出身校：帯広北高校
趣 味：2歳の娘と遊ぶ事
特技・資格：特になし
抱 負：これから皆様の信頼を得られるように笑顔を絶やす事なく努力していきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。



むらいとものり
村井智則

部 署：営農販売部営農サポート課
年 齢：43歳
出身地：浦幌町
出身校：浦幌高校
趣 味：魚釣り
特技・資格：
スポーツ
大型・大特・玉掛け・車輛系建設機械（整地、解体）・不整地運搬車・ローラー・クレーン、小型移動式クレーン
抱 負：何事にも一生懸命取り組みたいと思います。

北海道の最低賃金が 変わりました

時間額

861円

（令和元年10月3日から発効）

北海道において事業を営む全産業の使用者とその者に使用される労働者に適用されます（産業別最低賃金が適用される者は除きます）。

浦幌町農民連盟

営業時間が変わります

（11月1日～3月31日）

部 門		平 日	土 曜 日	
総務部・上浦幌支所一般業務 （管理課、企画課、上支所管理課）		9:00～17:00	9:00～12:00	
信用部	一般業務（信用課、共済課）	9:00～17:00	9:00～12:00	
	貯金・組勘窓口業務（信用課）	9:00～16:00	閉 店	
	A T M（本所・上支所）	9:00～17:00	閉 店	
購買部	生産資材課業務（生産資材課、上支所購買課）	9:00～17:00	9:00～12:00	
	整備工場（車両整備係、上支所購買課）	9:00～17:00	9:00～12:00	
	燃料車両課 給油所	本 所	8:00～18:00	平日営業 （日曜祝祭日も平日営業）
		上 支 所	8:30～17:30	平日営業
営農販売部	一般業務（農産課、上支所農産課）	9:00～17:00	9:00～12:00	
	施設業務（農産課、上支所農産課）	9:00～17:00	9:00～12:00	
	機械施設業務（営農サポート課）	9:00～17:00	9:00～12:00	
	畜産業務（畜産課）	9:00～17:00	9:00～12:00	

JAグループ通信

JA北海道中央会



あれから1年。



感謝の気持ちを
動画でお届け
いたします。

あれから1年
ありがとうございます！
頑張っています！
このQRコードの読み取り、またはURLを入力してください。
<http://ja-dosanko.jp/tv/cm.php>

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から1年が経ち、その間、JAグループ北海道に対して全国の皆様より、多大なるご支援をいただきました。そのご支援に対するお礼として、9月6日の朝日新聞と農業新聞に感謝広告並びに動画メッセージを掲載いたしました。私たちJAグループ北海道は今後とも、被災された組合員・組合員家族を支援して参ります。皆様方からのご支援、本当にありがとうございました。



北海道胆振東部地震に際しまして、日本全国からたくさんの応援や募金を頂きました。深く御礼申し上げます。

JAグループ北海道

JA北海道信連



9月5、6日、東京都内で開催された商談会「インフォメーションバザール」に特別協力し、道内14JAとともに出展、道内の農畜産物や加工品を紹介しました。

今年はJA出展エリアの一角に「窓口」を設置しナビゲーター役が各JAのブースを案内したほか、バイヤーズガイド「なまらうまい！JA」を配布し、JAや特産品のPRに工夫を凝らし、より多くの人に道産の魅力を伝えました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、大規模な災害が起きた時の備えとして、災害時に利用できる「非常用給水タンク10リットル」10万個を全道JAに配布いたします。

飲料水や生活用水等の確保に利用することが可能で、9月上旬から配布し、災害への備えの意識向上を呼びかけます。

JA共済連は、組合員・地域住民の安全・安心に貢献できる活動にこれからも取り組んでいきます。



ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は、8月25日に開催された「北海道マラソン2019」の前日と前々日に、会場となる大通公園にて北海道産のもち米を使った「赤飯おこわ」を無料配布しました。マラソンでは、グリコーゲンなどが豊富な食物により体内にエネルギー源をため込むことが推奨されていることから、例年に続きこの取り組みを実施。特設会場で「エナジーブース」という看板を掲げ、もち米が有効であることをアピールしました。



JA北海道厚生連



7月26日(金)岡山県で開催された「第60回日本人間ドック学会」の中で、全国の4施設が人間ドック健診施設機能評価優秀賞に選出され、その1施設として旭川厚生病院が表彰されました。今般、平成30年度に人間ドック健診施設機能評価を受審した施設を対象に選考が行われ、「健診当日に健診結果を説明している」「専門スタッフが保健指導を実施している」「精密検査や治療が必要な受診者に対するフォローアップが適切である」が評価され、人間ドック健診施設機能評価優秀賞に選ばれました。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



精そろう、大地と地域のみらい。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

… 手数料等改定に関するお知らせ …

◎振込手数料表

*改定日 令和元年10月1日～



区		分	5万円未満	5万円以上
ATM扱い	キャッシュカード振込	同一店内	0円	
		系統宛	110円	220円
		他行宛	440円	550円
	現金振込	同一店内(クミカン除く)	—	—
		系統宛	—	—
		他行宛	—	—
窓口扱い	同一店内	110円		
	系統宛	220円	440円	
	他行宛	550円	770円	
定時自動送金	同一店内	0円		
	系統宛	110円	220円	
	他行宛	440円	550円	
I B (インターネットバンキング)	同一店内	0円		
	系統宛	110円	220円	
	他行宛	330円	440円	

◎各種発行手数料



区	分	手数料	備考
通帳・証書	1通につき	550円	
キャッシュカード	1枚につき	1,100円	
キャッシュカード(JAカード一体型)	1枚につき	660円	
残高証明書	1通につき	330円	
取引履歴照合表	1通につき	330円	1枚当り¥20-(両・片面同額)
融資証明書	1通につき	330円	
貸付手数料	短期資金	1,100円	新規
貸付手数料	短期資金	550円	書替
貸付手数料※1	長期資金	11,000円	
繰上償還手数料※1	1件につき	5,500円	短期資金、農協の都合による繰上償還は除く

◎手数料には消費税10%相当額が含まれています。

※1 受託資金の貸付・繰上償還手数料については、資金の種類により取扱が異なります。



新パズル(10月)

ハ	ラ	タ	ミ	キ	ヨ	チ	ノ	ウ
タ	ヤ	マ	カ	タ	イ	ナ	ス	フ
ツ	マ	マ	オ	オ	ツ	イ	チ	カ
ト	グ	シ	ヨ	チ	ヨ	メ	ウ	イ
ク	チ	イ	ガ	シ	サ	ヨ	ガ	ガ
ト	ヒ	セ	ミ	ナ	キ	ウ	ソ	ナ
ミ	ト	ウ	ウ	ミ	オ	タ	ト	セ
□	ミ	ト	ズ	リ	キ	ヤ	カ	イ
カ	ジ	イ	モ	ト	ジ	ロ	ウ	シ

泉鏡花、伊藤左千夫、伊藤整、臼井吉見、宇野千代、乙一(オツイチ)、梶井基次郎、志賀直哉、式貴士、田山花袋、徳富蘆花、永井荷風、葉山嘉樹、原民喜、森鷗外、山口瞳

□解き方 今ほまに「読書の秋」です。今回は、日本の作家を並べてみましたので、探してみてください。

窓口に投函箱を用意してありますのでご利用ください。

中から抽選で5名の方にエコープ商品券を差し上げます。

□締め切り 10月23日

□発表 表 正解と当選者は本紙11月号に掲載します。

□賞品 正解者の

載します。

その結果、カナが何個か残りますので、それらを左上から並べてできる純文学作家を一人お答えください。

□応募要領 同封のハガキに答と住所・氏名(組合員の場合は世帯主名もご記入ください)を書き、投函ください。

また、本・支所の貯金

ゴ	ウ	リ	キ	デ	ン	コ	ン	ホ
オ	セ	レ	コ	タ	ラ	ユ	イ	ソ
オ	ン	イ	ガ	ン	ク	ビ	モ	ラ
カ	ブ	ネ	ラ	シ	サ	ハ	チ	ン
ミ	シ	カ	ケ	キ	キ	ヨ	ウ	ハ
ブ	ヤ	オ	チ	ヨ	ウ	ユ	ヨ	ト
ギ	マ	ザ	ヨ	ゴ	リ	メ	ン	ウ
ヨ	ハ	シ	ン	シ	セ	イ	カ	ツ
ウ	ハ	カ	イ	ロ	ウ	デ	ン	ヨ

9月号のパズルへの応募ありがとうございました。

7名中7名が正解でした。抽選の結果、次の5名の方に賞品をお送りいたします。

▽当選者名(敬称略)

芳川 乙美(弥寿子)(川上)
 部田 祐司(本人)(美園)
 山下 純子(茂樹)(西町)
 清水イワ子(本人)(住吉町)
 和田 光子(本人)(南町)



『令和元年JAうらほろ感謝祭』のお知らせ

組合員・地域の皆様へ、日頃からお世話になっている感謝の気持ちを込めまして「JAうらほろ感謝祭」を下記の日程により開催致します。

当日は農業会館前の駐車場を特設会場とし、Aコープ浦幌店の協力も頂きながら、農畜産物などの販売や飲食コーナー・お楽しみ抽選会などを企画しておりますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

なお、詳細につきましては、後日FAX・新聞折り込みでお知らせ致します。

記

開催日時 10月26日(土) 9:00~15:00(雨天決行)

会場 JAうらほろ本所東側駐車場特設会場

内容 農畜産物などの即売会

- ・農畜産物コーナー、生産資材コーナー、飲食コーナー
- ・お楽しみイベント

問い合わせ先 総務部企画課 TEL:015(576)4011

9月号の
 聖少女(三好徹)
 答はANSWER

でした

今月の抽選者は、山岸大介さん(帯富)です。

ちくさん情報



◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

◎ホクレン十勝家畜市場
・育成牛市場（9月4日）

（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	0	-	-	-	334,361

・乳牛市場（9月10日）

（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET)	13	888,840	432,000	628,975	724,818
初妊牛(ET)	4	1,094,040	750,600	883,710	927,608
経産牛	2	375,840	204,120	289,980	411,716

・乳牛市場（9月26日）

（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET)	22	724,680	171,720	512,362	683,194
初妊牛(ET)	0	-	-	-	892,489
経産牛	0	-	-	-	405,947

次回市場	育成牛	10月3日	（農協順：17）
	乳牛	10月8日	（農協順：10）
	乳牛	10月24日	（農協順：19）
11月市場	育成牛	11月5日	（農協順：11）
	乳牛	11月7日	（農協順：4）
	乳牛	11月27日	（農協順：21）

・肉牛市場（9月17日-20日）

（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	73	942,840	251,640	739,978	792,919
和牛素牛(雌)	36	806,760	505,440	664,560	697,947
繁殖雌牛	4	1,167,480	505,440	686,610	830,631
廃用牛	19	498,960	117,720	291,316	283,727
交雑牛(去勢)	0	-	-	-	469,794
交雑牛(雌)	53	365,040	324,000	335,778	381,237

次回市場	10月16・17日	
	（農協順 黒毛：6・交雑牛：1）	
11月市場	11月12・15日	
	（農協順 黒毛：9・交雑牛：4）	

◎ホクレン十勝枝肉市場（9月平均単価）

（単位：kg/円）

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,423	2,193	1,844	1,420	2,203

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場
10月開催日
1日・4日・8日・11日・15日・18日・21日・25日・29日
11月開催日
1日・5日・8日・12日・14日・19日・22日・26日・29日

◎畜産公社出荷日 10月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。
集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

△牧草地への過剰なふん尿施用による牛への影響▽

肥料成分が過剰に供給されることにより、粗飼料中のカリや硝酸態窒素が増加し、繁殖障害や栄養素の吸収阻害の原因になります。

・硝酸態窒素による影響
高濃度で体内に取り込まれると、硝酸とヘモグロビンが結合して、いわゆる酸欠状態となり、ときには死に至ることもありま

・カリによる影響
乾物中濃度が3%以上になると、マグネシウムの吸収率が低下し、グラスステタニ症を引き起こします。さらにイオンバランスが崩れ、カルシウム代謝の低下をまねき、低カルシウム血症など繁殖障害の一因となります。

・給与飼料全体で見れば、粗飼料の硝酸態窒素濃度が直接乳牛への影響を及ぼすことは少ないといわれています。もし粗飼料分析の結果を見て、硝酸態窒素濃度が高い粗飼料がある場合には、妊娠牛への給与をなるべく避けたいです。その飼料を使用せざるをえない場合は、ほかの硝酸塩含量の低い粗飼料や配合飼料と混ぜて、全体的に濃度を薄めてから給与することが必要です。

◎浦幌町の乳牛頭数（搾乳農家）8月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
3,582頭	494頭	4,076頭	3,087頭	7,163頭

◎生乳生産量（8月出荷分）

実績乳量	前年実績対比	4月～8月実績乳量	4月～8月前年対比	経産牛1日1頭当乳量
3,081t	104.1%	15,253t	101.3%	27.7kg

◎生乳成分と乳代単価（8月）

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)			合計
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	
平均						
全道	3.83	8.67	92.06	5.95	1.78	99.80
十勝	3.78	8.69	91.79	5.95	1.78	99.53
浦幌町	3.81	8.71	91.91	5.95	1.78	99.65

◎衛生的乳質検査結果（8月）

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3		
全道	15,047 (96.0)	594 (3.7)	24 (0.3)	11,299 (80.6)	5,225
十勝	3,268 (96.8)	102 (3.0)	6 (0.2)	2,734 (86.8)	1,126
浦幌町	132 (93.6)	9 (6.4)	0 (0.0)	93 (77.5)	47

上段は3旬計の件数・下段()は%



我が家の子宝



常室地区 ^{やま} ^{かわ} ^{にっ} ^{こう} **山 川 日 煌** くん(1歳3ヶ月)
(山川真輔さん、茜さん夫妻のお子さん)

- 好きな食べ物は？
いちご
- 宝物、マイブームは？
トミカ
- チャームポイントは？
□
- 家でのお子さん様子は？
歌が好きで音楽が流れると踊りだす
- 成長を感じる場面は？
歩けるようになったことです！
- どんな子に育ててほしいですか？
明るく優しい子

10月のカレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事 項
1	第13回企画会議
3	職員防犯研修
4	職員防犯訓練
9	農産専門委員会
16	監事監査 (第2 四半期、~18日)
24	第14回企画会議
25	上浦幌支所購買展示会
26	令和元年JAうらほろ感謝祭
29	第8回理事会

新 晴耕雨読

198

今回は、小島憲之他校注・訳「新編日本
古典文学全集 万葉集(全4巻)」(小学館)
を取り上げます。

万葉集は日本で一番古い歌集で、天皇や
皇族、柿本人麿などの歌人、防人など、様
々な階級の人たちが詠んだ歌4千首あまり
が載っています。当然、飛鳥時代の原本は
存在せず、後の時代の写本が多くの系統に
分かれて今日に伝えられています。

文法や読み方などの研究は平安時代から
始まっており、本全集はこれまでの成果を

取り入れた校訂と注解を施して訳したもの
です。特に万葉集には「戯書」という独特
の万葉仮名用字法があり、読み方には苦労
しています。「山上復有山」は「出」で問
違いないのですが、「西渡」を「(月が)か
たぶく」と読むのには異論もあるそうです。

万葉集は大伴家持の私家集が基になっ
ているという説が有力ですが、なるほど、万
葉集最後の歌は、家持の新年の歌「新しき
歳の始めの初春の今日降る
雪のいや重け吉事」です。

歌人の大岡信は「私の万
葉集(全5巻)」(講談社現
代新書)を出しています。

これは、大岡が万葉集の中から選んだ10
0首について鑑賞したものです。(り)

